

UFO-7 (マキシマム) 新機能

① サテライト、クルージング、コピー (転送複写)

受信側・受信中 ⇒ + 表示 6秒間待ち受け

送信側・受信中 ⇒ (1) + + 表示 ビ、音でEND

(2) + + ビ、音が出るまで、PTTを押し続ける

- (1) 自局の全機能を相手局 (無線機) に送出する。
- (2) 自局の全機能と全メモリーを相手局 (無線機) に送出する。
- (3) 転送受信側無線機に異常な電波が入った時にはエラー表示で中止します。

UFO7 (マキシマム) は自局全機能、全メモリーを他局に複写することも又その逆も出来ます。UFOを使いこなす人が使い方の解らない人に教えたり、仲間同士で、群番号やCHメモリー、CBロック、待ち受けをそろえたり出来ます。(但し 2重安心ロックと暗証番号は送れません)

② パトリオット (自動開局)

リセット中 + ON ⇔ OFF ON時 READYランプ 点滅

☆ リセット状態でUFO7の同一群番号が2台以上電波のつながる管内に入った状態になれば管内の同一群番全局が自動開局します。(パトリオット機能ON時に通常の発着呼も出来ます)

注意 単一モード時に、使用して下さい。オールモード (H+1)、MARIO (CALL+H) 機能との併用は出来ません。

③ 免許番号自動表示

+ +

☆ ATIS信号を受けると、免許番号を3段回りに自動表示し → 群番表示に変わります。

左小窓 □ 点滅 ⇒ 申請された免許番号

左小窓 - 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

④ 使用CH数表示

約1.5秒押す → 例) 現在 (80CH中 25CH使用中)

☆ リセット中、通話中 (モニター時不可) に SHIFTキーを約1.5秒以上押し続けると現在の使用中のCH数が確認出来ます。

⑤ APOLLO機能 (秘話通信)

通話中全局が移動する機能です。送信中に操作して下さい。

(1) APOLLO, I

送信中に マイク END モード1と2のランダムなCHに手動で移動します。

(2) APOLLO, II

送信中に 本体 END 送信中約10秒でモード1と2のCHをランダムに移動します。

☆ アポロは通常、送受信中にCHが移動するので、受信側は APPOL と バンド CH の交互表示となり信号を受けたことが一目で解ります。

※ リコール信号は受信中なら立ち上がったモードへ、送信中は一つ前のモードCHにリコールします。

⑥ 5分間無変調防止回路

送信中に HOLD + C ON ⇔ OFF 表示 → CUT_5 1秒間

☆ 機能セットして5分後に ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ が表示され、受信に変わります。

⑦ ノーマル機レスキュー機能

CALL 約3秒間押す ⇒ -SUB- + 2

受信中に切断信号を受けると自動的にリコール信号を送出します、ノーマル機との通話中に有効です。
リセットすると解除されます。

⑧ NEW MARIO II 機能

複数の指定モードのモニター及びリコール (一発リコール) する機能です。

モニター中 CALL + 0 ~ 9 を連続で押すと、約2秒後 ビ、音 モード記憶

モニター中 CALL + HOLD は指定モードの セット ⇔ リセット

表示確認 リセット中は待ち受けランプ (オレンジ数字) モニター中は指定モード表示に変わります。

0 押す 指定モード・CH ⇔ 待受ランプ・群番

例) 0、2、4、とセットすれば、モニターSCANは 0-2-4-0 とSCANします。

呼び出し及びリコールは 0、2、4、モードにたいして1回でOK。連続リコールの必要無し。

⑨ 逆モニタースキャン

1 キーとSHIFTキー ⇒ 1 CHダウン、その後1秒以上で入感あるまで逆スキャンします。

3 キーとREMOTEキー ⇒ 上記の逆です。

モニター中すべてキーを押すことによりモニターストップできます。

⑩ バック・トゥ・ザ・フューチャー機能 (CH復帰機能)

前使用CHに戻る機能です。

通話中 MON + M

プライオリティーフライト、アプロ、カプセルQSY、CHメモリーJP、使用後便利です。

⑪ 通話中 MON 表示 JP_____ + MON でスキャンします。

☆ 特殊機能の変更

(1) ボイジャー 及び スペースシャトルが逆回りします

SHIFT + SHIFT + MON または CALL

(2) B-Y-J が40CH から 80CHに増えました。 SHIFT + HOLD
但し 40CH毎にECHに入りその時、PTTがONなら連続して80CHをまわります。

(3) 上記2機能は複合的に使用可能です。(BYJを80CHにして逆まわります)

SHIFT + SHIFT + HOLD

(4) さらに SUBモードの SUB + 1 をセット後に上記 (1)、(2)、(3)、の機能を複合使用可能。

(5) トーンスケルチ通信、トーンスケルチ通信クロスバンドの自動発呼

(6) SPS (スペースシャトル秘話通信) の自動発呼

☆ ノーマル機能の変更 (さらにノーマルに近い)

(1) 待ち受け中 CALL + 1 ~ 9 有効になりました。

(2) モニタースキャン一周後 (80CH、158CH) 待ち受けに戻す。

(3) モニタースキャンスピードをノーマルと同一にする。

(4) TX中 → VU点灯、 SIGNAL消灯

TX中以外 → VU消灯、 SIGNAL点灯

(5) 00000 リコール不可

(6) モニターブレイク不可

※注意：このタイプは、オプションです。

自動車電話盗聴機能

※ 注意 必ずリセット中に操作して下さい。 UFO及びCBCどちらからでも移行可能です。

+ ⇒ 表示でSCAN開始です。

SCAN、STOPは、全てのキーが有効です。

☆ スキャンの種類

通常の電話モードSCAN

30CH、オートメモリースキャン

CHメモリーSCAN (記憶がされていない時は通常のSCAN)

表示 正回転SCAN 逆回転SCAN

モニターしながら、使用CHで通話が終わるとビ音が鳴りCHメモリーして再スキャンし、常に新しいメモリーを蓄え、30CH記憶している場合は古いメモリーは消していきます。

記憶の確認は、0でメモリースキャンを止めてから、1のボタンで順次確認出来ます。

☆ そのCHで固定します。 ☆ 80CH ⇔ 160CH

☆ 又は 1CHダウン逆回転、1秒以上押すとSCAN開始

又は 1CHアップ正回転、1秒以上押すとSCAN開始

☆ 受信中に

手動メモリー (ピ、音記憶) 既に記憶済み時の表示

メモリー解除 (ピ、音で前記憶表示) 記憶されていない時の表示

☆ 指定モードの設定方法 (指定されたモードだけをスキャン出来ます)

受信中に + 連続動作可能 (記憶解除も同動作)

指定モードは通常無線機と電話盗聴と別々に記憶出来ます。

☆ 受信中に 通常終了後のオートスキャン、タイマー 0、2秒 ⇔ 2秒 切り替え

注意 地域によっては、受信が困難な場所や制御チャンネルで止まる事があります。

動作中、おかしいと思った時は、
本体の END キーを
押したまま電源を入れて下さい。

現在 UFO-4 をお持ちのお客様は、
新機能のページをお読み頂くだけで充分です。

初めての方はC B Cの取説を
U F Oでの使用はC B C以外のページをお読み下さい。



FREQUENCY RANGE	903.0125 to 904.9875MHz
NUMBER OF CHANNEL	158CH
CHANNEL SEPARATION	12.5KHz
FREQUENCY STABILITY	±2PPM
NOMINAL BATTERY VOLTAGE	DC13.8V
AMBIENT TEMPERATURE	-10°C to +50°C
RF OUTPUT POWER	5W/0.2W
SPURIOUS AND HARMONICS	-60dB
MAXIMUM DEVIATION	±3.5KHz
SENSITIVITY	0.4μV
INTERMODULATION	68dBμV
SPURIOUS SENSITIVITY	70dB
AUDIO OUTPUT	2W/4Ω
AUDIO DISTORTION	LESS THAN 5%

CBC 取扱説明書

- ☆ 群番号の入れ方 $\boxed{M} + \boxed{1} + \boxed{C} + \boxed{1\ 2\ 3\ 4\ 5}$
メモリー1に“12345”の群番号を入れました。同様に10個入ります。
- ☆ 待ち受けのON、OFFはリセット中 1~9 を押し左下にランプがつけばOK
- ☆ 呼び出しは現表示の群番号
- ☆ モニターをして止まった所で通話OK

- ☆ チャンネル固定 $\boxed{C} + \boxed{2\ 3} + \boxed{MON}$ 23CHに固定
 $\boxed{C} + \boxed{1\ 4\ 4} + \boxed{MON}$ 144CHに固定

- ☆ $\boxed{HOLD} + \boxed{2}$ を押す回数で、モードダウン
- ☆ $\boxed{HOLD} + \boxed{5}$ を押す回数で、モードアップ
- ☆ $\boxed{HOLD} + \boxed{8}$ 目覚し時計 終了はマイクのEND

- ☆ リコールはREMOTEボタンを押す
- ☆ ノーマル機能への入れ方

$\boxed{HOLD} + \boxed{REMOTE}$

- ☆ ノーマル機能からCBCへ

$\boxed{HOLD} + \boxed{REMOTE} + \boxed{5\ 桁の暗証番号} \Rightarrow \boxed{C\ B\ C}$ 表示



- ◎ CBCからUFOへ

\boxed{HOLD} 5秒以上押し続ける $\Rightarrow \boxed{U\ F\ O}$ 再度で $\Rightarrow \boxed{C\ B\ C}$

- ◎ CBCからTELモードへ

$\boxed{CALL} + \boxed{CALL} \Rightarrow \boxed{C\ _ \ T\ E\ L}$ 表示

CB使用

- ☆ チャンネルセット $\boxed{C} + \boxed{22} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{0\ 22}$ ロックさせるCHセット
- ☆ CBメモリー $\boxed{HOLD} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{-SET-}$ メモリーセットOK
- ☆ CBロック $\boxed{HOLD} + \boxed{M} \Rightarrow \boxed{CB-ON}$  カギマーク点滅
- ☆ CBロック解除 $\boxed{HOLD} + \boxed{M} \Rightarrow \boxed{CB-OFF}$  カギマーク消える

UFO7マキシマム取扱説明書

本機には、UFO、CBC、ノーマルモード、TELモード、の4モードが独立して存在しています。ご希望のモードにて使用して下さい。なお、SUBモード機能 も新しく加わりましたので、ご注意下さい。

- ☆ HOLDを5秒以上押し続けると UFO7 と CBC (SIGNAL点灯) が切り替わります。
- ☆ CALL+CALLにて TELモード に移ります。
- ☆ CALLを3秒以上押し続けると -SUB-モード に移ります。
- ☆ HOLD+REMOTEにて ノーマルモード に移ります。

ノーマル モード について

- ☆ 本機には、ノーマルモードがあります。ノーマルの取扱説明書を参照下さい

SUB モード 取扱説明書

CALL を3秒以上押し続けると **-SUB-** が表示しますので 3秒以内に次のキーを押して下さい。

尚、UFO 及び CBC の各状態いずれかのリセット中に移行可能です。

操作 方 法	表 示	内 容
CALL ⇒ -SUB- + 1	0 2 - 8 0	UFO、ボイジャー等、ハーフCHを選択していたものを強制的に80CH内を選択します。
CALL ⇒ -SUB- + 2	C U T - r	切断信号を受けると自動でリコールをたきます。
CALL ⇒ -SUB- + 3	L C - O N	安心ロック機能 電源OFFのたびに 暗証番号が必要です。

終了時は、リセット ⇒ もとのモード (UFO又はCBC) に戻ります。

ただし、安心ロック機能については、再度同じ動作をして機能を解除して下さい。

— ご注意 —

ご使用になる前に、免許申請をしてROMカートリッジを受け取ってからご使用下さい。

最初にノーマルの取扱説明書をよくお読みになってから、本取扱説明書をお読みいただき正しい使い方によりご愛用下さい。

	ページ	番号
スペシャル機能		
HOLDの各機能一覧	H -	1・2
スペシャルの入り方	(1)	①
ノーマルへのもどし方	(1)	②
特殊群番の設定	(1)	③
CHの入れ方	(1)	④
CHメモリーの仕方	(1)	⑤
待ち受けのセット	(2)	⑧
一分間通話モード	(2)	⑨
HOLDの一般機能	(3)	①
全モード待ち受け/全モードスキャン	(3)	②
モードの切換え	(3)	③
スピードスキャンの切換え	(3)	④
PTTリコール	(3)	⑤
ATIS信号カット	(3)	⑥
群番解読	(3)	⑦
タイマーカット	(4)	⑧
多群番一括リコール	(4)	⑨
空きCHサーチ	(4)	⑩
CHメモリースキャン	(4)	⑪
CB, CHメモリー	(4)	⑫
CBロック	(4)	⑬
群番吸い取り	(5)	⑭
CBC (簡単操作)	(5)	⑮
★ 業務的拡声器	(7)	⑥
切断信号の送出、待ち受け ON/OFF	(8)	⑪
居眠り防止機能	(8)	⑫
UFO/CBCディスプレイ ON/OFF	(8)	⑬
免許番号に関する機能		
免許番号吸い取り	(5)	①
自局の免許番号表示	(5)	②
相手局の免許番号表示	(5)	③
免許番号を自局に戻す	(6)	④
免許番号を作る!	(6)	⑤
免許番号待ち受け	(6)	⑥
免許番号自動表示	(6)	⑦

ノーマル機能	送信出力、受信感度の低下	(7)	①
	通話モード切換え	(7)	②
	80CH⇔158CH切換え	(7)	③
	フィーバーゲーム	(7)	④
	PA	(7)	⑤
	ストップ ウォッチ	(7)	⑦
	目覚ましアラーム	(8)	⑧
	動作音の変更 大 小 無	(8)	⑨⑩
HOLDの特殊機能	クロスバンド機能セット ON/OFF	(9)	①
	ベル機能セット ON/OFF	(9)	②
	UFO (デジタル) 機能セット ON/OFF	(9)	③
	スペースシャトル機能セット ON/OFF	(9)	④
	ボイジャー機能セット ON/OFF	(9)	⑤
	アポロ機能セット ON/OFF	(9)	⑥
	クロスバンド通信	(10)	⑦
	トーンスケルチ通信	(10)	⑧
	トーンスケルチ通信 クロスバンド	(10)	⑨
	UFO (デジタル) 通信 (秘話)	(10)	⑩⑪⑫
	サテライト・クルージング・コピー (転送複写)	(11)	⑬
HOLDを離れた特殊機能	APOLLO通信 (秘話)	(11)	①
	スペース、シャトル (秘話) 通信	(12)	②
	ボイジャー (秘話) 通信	(12)	③
	カプセルQSY	(12)	④
	プライオリティ機能	(13)	⑤
★	PTTON一時PA	(13)	⑥
	群番解読一発モニター機能	(13)	⑦
	数字でこんにちわ機能	(13)	⑧
	パトリオット機能	(13)	⑨
	使用CH数表示	(13)	⑩
	ポケットベル機能	(14)	⑪
	5分間無変調防止回路	(14)	⑫
	ノーマル機レスキュー機能	(14)	⑬
	NEW MARIO II 機能	(14)	⑭
	操作ボード・マイクのボタンの操作	(15)	

★ 印は、オプション使用です

HOLDの各機能一覧

ページ	操 作	内 容
(3) ②	HOLD + 1	= 全モード待ち受け/全モードスキャン ON/OFF
(3) ③	HOLD + 2	= モード切換え ダウン
(3) ④	HOLD + 3	= スピードスキャン 高速/低速
(3) ⑤	HOLD + 4	= PTTリコール/一分タイマーリコール ON/OFF
(3) ③	HOLD + 5	= モード切換え アップ
(3) ⑥	HOLD + 6	= ATIS信号カット ON/OFF
(3) ⑦	HOLD + 7	= 群番解読 ON/OFF
(4) ⑧	HOLD + 8	= タイマーカット ON/OFF
(4) ⑨	HOLD + 9	= 多群番リコール ON/OFF
(4) ⑩	HOLD + 0	= 空CH サーチ ON/OFF
(4) ⑪	HOLD + C	= メモリースキャン ON/OFF
(4) ⑫	HOLD + MON	= CB, CHメモリー ON
(4) ⑬	HOLD + M	= CBロック ON/OFF
(5) ⑭	HOLD + HOLD + 0~9	= 群番吸取り
(5) ⑮	HOLD を5秒以上押し続ける	= UFO ⇔ CBC (簡単操作) 切換え
(5) ⑯	HOLD + REMOTE	= ノーマル機能
(5) ①	HOLD + HOLD + HOLD	= 免許番号吸い取り
(5) ②	HOLD + HOLD + MON	= 自局の免許番号表示
(5) ③	HOLD + HOLD + CALL	= 相手の免許番号表示
(6) ④	HOLD + HOLD + C	= 免許番号を自局に戻す
(6) ⑦	HOLD + HOLD + M	= 自動免許番号表示
(7) ①	HOLD + CALL + 1	= 0.2W・RXL ⇔ 5W, 切換え
(7) ②	HOLD + CALL + 2	= 80CH ⇒ 1MIN ⇒ LOCAL 切換え
(7) ③	HOLD + CALL + 3	= 80CH ⇒ 158CH 切換え

ページ	操 作	内 容
(7) ④	HOLD + CALL + 4	= フィーバーゲーム
(7) ⑤	HOLD + CALL + 5	= PA (拡声器)
(7) ⑥	HOLD + CALL + 6	= 業務的拡声器
(7) ⑦	HOLD + CALL + 7	= ストップウォッチ
(7) ⑧	HOLD + CALL + 8	= 目覚ましアラーム (CBCではHOLD+8)
(7) ⑨	HOLD + CALL + 9	= 動作音 大
(7) ⑩	HOLD + CALL + 0	= 動作音 小 無
(7) ⑪	HOLD + CALL + C	= 切断信号送出・受付 ON/OFF
(7) ⑫	HOLD + CALL + M	= 居眠り防止機能
(7) ⑬	HOLD + CALL + MON	= UFO/CBCディスプレイ ON/OFF
(6) ⑥	HOLD + CALL + HOLD	= 免許番号待ち受け
(9) ①	HOLD + SHIFT + C	= クロスバンド通信 ON/OFF
(9) ②	HOLD + SHIFT + M	= ベル機能 ON/OFF
(9) ③	HOLD + SHIFT + MON	= UFO (デジタル) 通信 ON/OFF
(9) ④	HOLD + SHIFT + HOLD	= スペースシャトル通信 ON/OFF
(9) ⑤	HOLD + SHIFT + CALL	= ボイジャー通信 ON/OFF
(9) ⑥	HOLD + SHIFT + END	= アポロ通信 ON/OFF
(10) ⑦	HOLD + SHIFT + □ + □ (0 ~ 4)	= クロスバンド通信
(10) ⑧	HOLD + SHIFT + 5	= トーンスケルチ通信
(10) ⑨	HOLD + SHIFT + □ + □ (6 ~ 9)	= トーンスケルチ通信 クロスバンド
(10) ⑩	HOLD + SHIFT + SHIFT	= UFO (デジタル) 通信 単モード
(10) ⑪	HOLD + SHIFT + REMOTE	= UFO (デジタル) 通信 ダブルモード
(11) ⑫	HOLD + SHIFT + PTT	= UFO (デジタル) 通信 フォースモード
(11) ⑬	HOLD + PTT	= サテライト・クルージング・コピー機能 1
(11) ⑭	HOLD + PTT + PTT	= サテライト・クルージング・コピー機能 1

UFO7マキシマム取扱説明書

① スペシャルモードの入れ方

MONキーを押して、CHが表示されれば、すでにスペシャル状態になっています。
スペシャル状態でない場合は、以下の操作を行って下さい。

HOLD + **REMOTE** + **暗証番号** ⇒ **U F O** 点滅表示します。

② ノーマルモードへの戻し方

スペシャル状態を他人に知られたくない場合、下記のとおり操作すると、ノーマルモードに戻ります。
※注意（暗証番号を忘れると、再度スペシャルにならなくなります。）

HOLD + **REMOTE** ⇒ **ノーマル機能**

CBロック時は、**HOLD+M** を押した後行って下さい。

③ 特殊群番号の打ち方

0～9の数字以外の特殊群番号が打てます。“C”に続く次のキーです。

CALL ⇒ **A** **HOLD** ⇒ **B** **M** ⇒ **C**

マイクEND ⇒ **D** **SHIFT** ⇒ **E** **REMOTE** ⇒ **F**

④ CHの指定を行います。

例 50CHに指定 **C** + **5 0** + **MON** ⇒ **0 50**

例 123CHに指定 **C** + **1 2 3** + **MON** ⇒ **0 123**

⑤ 群番、CH、モードを10個メモリーが出来ます。

例 メモリー2に11111を入れます。

M + **2** + **C** + **1 1 1 1 1** ⇒ **2, 1 1 1 1 1**

ノーマルモードの25CHにセットします。

C + **2 5** + **MON** ⇒ **0 2 5**

25CHのモニター状態のなります。その後、CHメモリー2に、記憶します。

8 + **2** ⇒ **S E T _ 2**

⑥ メモリーCHを呼び出します。

前記の、CHメモリー-2に入れた、25CHを呼び出します。

$\boxed{C} + \boxed{2} + \boxed{\text{MON}} \Rightarrow \boxed{\text{J P } _ _ 2} \Rightarrow \boxed{0 \quad 2 \quad 5}$

25CHにモニター状態になります。また、

$\boxed{M} + \boxed{\text{MON}} + \boxed{2}$ と押しても同様です。

通話中、送信中のCHメモリー呼び出しは、

$\boxed{\text{MON}} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{\text{J P } _ _ 2} \Rightarrow \boxed{0 \quad 2 \quad 5}$ と押して下さい。

⑦ CHメモリーを発呼出来ます。

リセット中、前記で入れたCHメモリー-2の11111を25CHで発呼します。

$\boxed{\text{CALL}} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{0 \quad 2 \quad 5}$ 25CHでモニター状態になります。

同様にCALL+0~9にて、10個のCHメモリー発呼が可能です。

⑧ 待ち受けのセットの仕方。

リセット中に行ってください。

1~9のボタンを押すと、画面左下に、1~Eのランプが点灯します。

1~3 ランプ点灯は、メモリー1~3の待ち受け

A は、4とA-COd 待ち受け

B は、5とB-COd 待ち受け

ランプ消燈時は、待ち受けしていません。

L は、6とL-COd 待ち受け

H は、7とH-COd 待ち受け

P は、8とP-COd 待ち受け

E は、全群番号 待ち受け

0 は、待ち受け表示は、ありません。

また、自分で最後に表示した群番号は、上記に関係なく、常に待ち受け状態となります。

⑨ 一分間通話モード

送る側も受ける側も一分間しか通話出来ません。一分後、自動的にリセットします。

業務用としても、幅広く使用できますので大変便利です。

メモリー0の群番号を同じにします。

M + 0 にての、発呼(マイクをにぎる)は、自動的に一分間通話モードです。

$\Rightarrow \boxed{_ _ _ 4 \quad 5}$ 残り時間、45秒を表示しています。

※ CHについて

キー操作によるCH設定の場合は、01CH~158CHまで可能です。

(モニタースキャン時は、02CH~158CHまでです。)

ただし、制御CH(01CH)の送信は出来ません。また、モード5、6、7、8、9

は、極度に周波数が離れているため、無線機本体の性能により、送信出来ない場合があります。

また、送信していても安定した電波であるかは不明です。このため、この周波数帯での送信は、

極力行わないで下さい。パワーモジュールの故障の原因ともなります。

01CHでの送信 $\Rightarrow \boxed{\text{P } _ \text{O F F}}$ 送信不可能です。

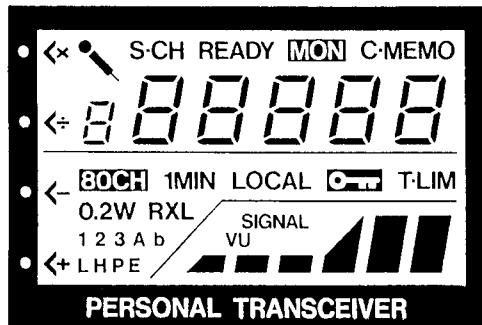
5, 6, 7, 8, 9モードも同様です。

HOLDの一般機能

①

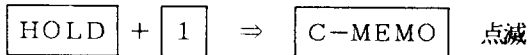


を押すと、



のセット、解除の
確認が出来ます。

② 全モード待ち受け 全モードスキャン



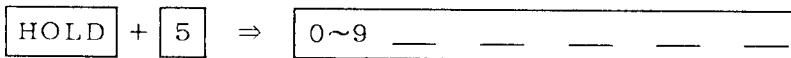
リセット中、全モードにおいて待ち受けします。相手側は連続リコールが必要です。
モニター中、全モードにおいてスキャンします。

※ NEW MARIO II機能と同時にセットされると、MARIOが優先されます。

③ モードの切換え

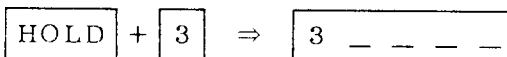


モードを地下バンド方向へ切換えられます。



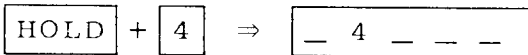
2, と同様ですが、逆方向です。

④ スキャンスピードの切換え



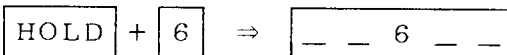
モニタースキャンのスピードを変えます。

⑤ PTTリコール 一分タイマーリコール



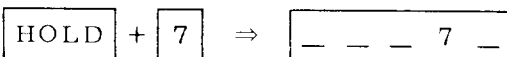
PTTを離れた時に、リコールをたきます。受信中、一分おきにリコールをたきます。

⑥ ATIS信号カット



PTTを握った時、離れた時のATIS信号を止めてしまいます。ただし、リコールはできます。

⑦ 群番号解読



受信の時、ATIS信号を受けた群番号を表示させます。

⑧ タイマーカット

HOLD + **8** ⇒ **T _ C U T** タイマーカットON

⇒ **T _ U S E** 再度でOFF

呼び出しを受けた後のタイマー ON, OFF ^{T・LIM} ONなら30秒後待ち受けに戻る。

⑨ 多群番号一括リコール

HOLD + **9** ⇒ **_ _ _ _ 9**

待ち受け指定をしている群番号を、すべてリコールする機能です。
 ※NEW MARIO II機能(A _ _)と同時にセットされると、MARIOが優先されます。

⑩ 空きCHサーチ

HOLD + **0** ⇒ **O P - C H** 空きCHサーチON

⇒ **U S - C H** 再度でOFF

スキヤンを空いているCHで止めるようにします。
 あくまで、機械の空きCHレベルにより判断しますので、遠くで使用している場合、また、ブレイクタイムの時などで、使用中のCHで止まる事もあります。
 ※CHメモリスキヤン⑪と同時にセットされると空CHサーチは無視されます。

⑪ CHメモリスキヤン

HOLD + **C** ⇒ **C _ S C N** スキヤンON

⇒ **_ _ _ C H** CHメモリーがセットされていない時表示

CHの順番のスキヤンではなく、CHメモリーのスキヤンを行います。
 GVUFOには10個のCHメモリーがありますが、CHメモリーについては、1ページの⑤項を参照して下さい。
 スキヤン中、モニターキーを押すとスキヤンが止まり、マイクのSHIFTとREMOTEにて順番に送れます。PTT ON又は、ENDで、CHのメモリスキヤンがOFFになります。


⑫ CB、CHメモリー

C + **2 3** + **MON** 23CHをセットしてから、

HOLD + **MON** ⇒ **- S E T -**

CBロックさせる為のセットですので、あらかじめモード、CH、群番号(メモリー1)をセットして下さい。群番号は(メモリー1)がセットされます。

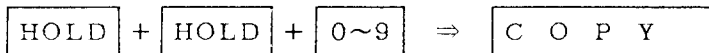
⑬ CBロック

HOLD + **M** ⇒ **C B - O N** ⇒  マーク点滅

⇒ **C B - O F** 再度でOFF

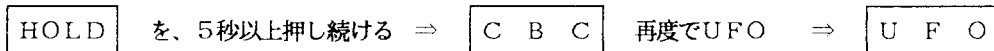
CBロックを掛ければ、リコール・PTT・PTTPA、そして解除のHOLD+M以外の全ての操作を不可能にして簡単に使用していただく機能です。群番号は、メモリー1の群番号で送信します。このとき、待ち受けの表示ランプ2~Eは消灯します。ロックOFF時にPTTリコール(H+4) ATISカット(H+6)をセットしておけば、CBロック時、自動的にセットされています。

⑭ 群番号吸い取り



群番号解読の時、表示された群番号を、自分のメモリーにコピーすることが出来ます。コピーしたい群番号が表示されたら、上記の操作を行います。但し、以前に記憶されていたメモリーは消されます。

⑮ CBC (簡単操作)

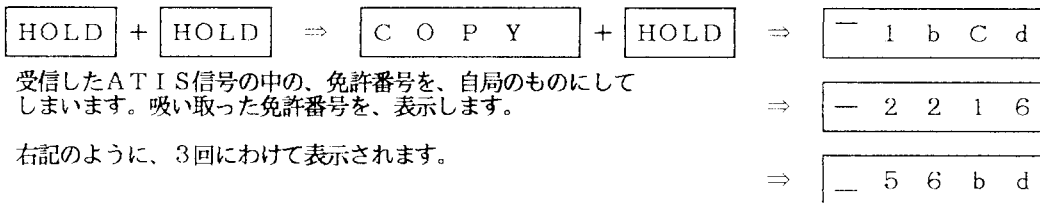


Sメーターの上に、SIGNAL表示時はCBCです。
CBC時、群番号解読、CH固定、モニター割り込み、モード切り換え、M+Oでの一分間通話、HOLD+8が目覚ましに変わり、PTTON PAのみで余分な操作は出来なく簡単に使えます。CBロック機能付きです。CBC取扱説明書を参照して下さい。(もちろん、リコール等は使用可能) また、UFO時の機能のうち、全モード待ちノスキャン(H+1)、PTTリコール(H+4)、ATISカット(H+6)、多群番リコール(H+9)、特殊機能はUFO時にOFFしておく、CBC時に使用出来ます。
CBC時に、ノーマル機能に入れて再度スペシャルON時はCBCに戻ります。UFOも同様です。

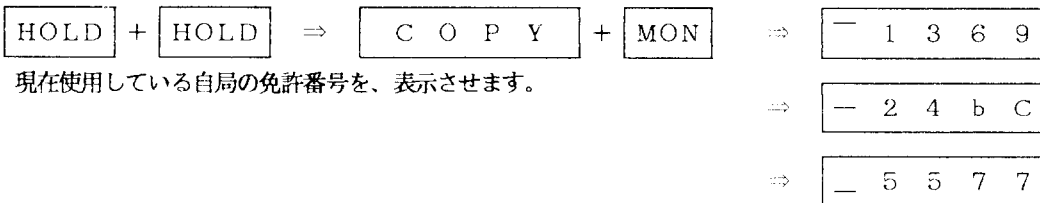
⑯ ノーマルモードにします。
1ページ②を参照して下さい。

免許番号に関する機能

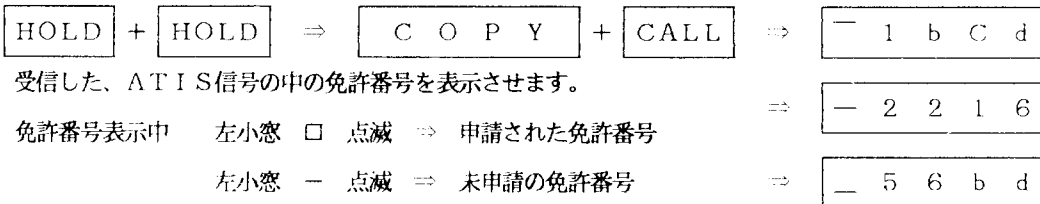
① 免許番号吸い取り



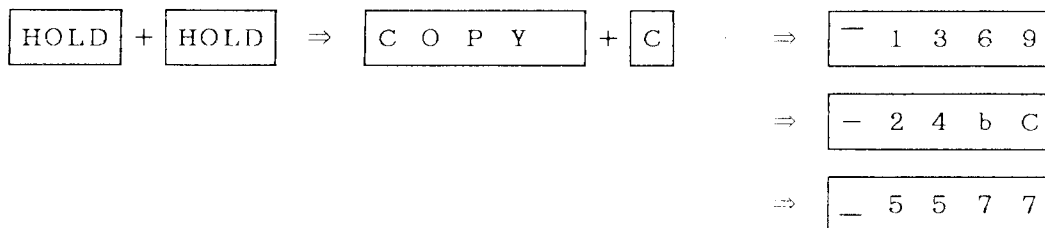
② 自局の免許番号の表示



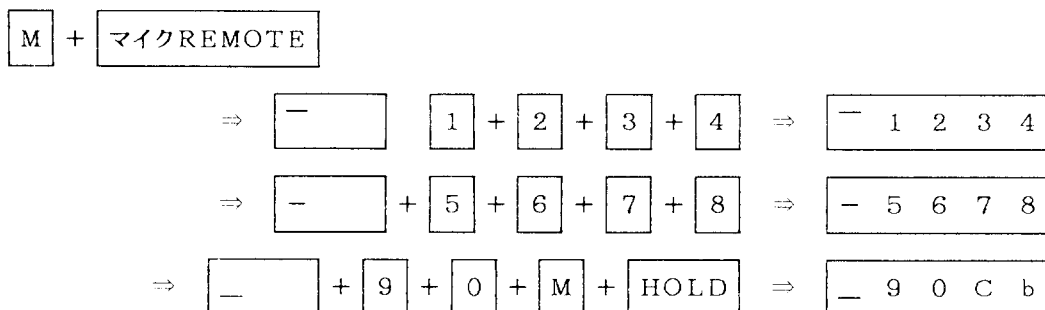
③ 相手局の免許番号の表示



④ 免許番号を自局に戻す



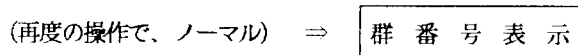
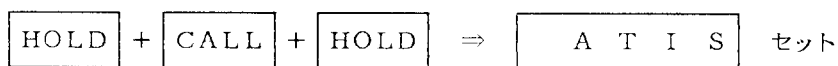
⑤ 免許番号を作る！！



これで、免許番号は、1234567890CB となりました。キー入力の際のアルファベット入力は、群番号の場合と同じです。

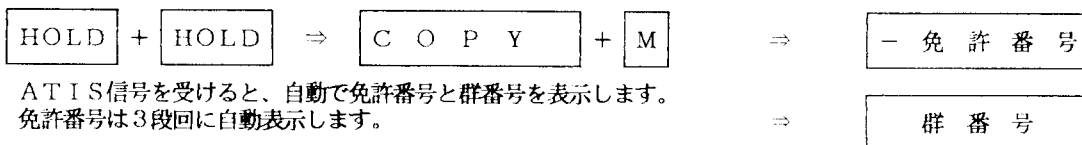
⑥ 免許番号待ち受け

リセット中、自局の免許番号と同じ局にだけ、呼び出しを受け付けます。



群番号には関係なく、ATISの中の、免許番号だけに答えます。
 あらかじめ、相手の免許番号を吸い取っておくか、記録しておいて免許番号を打ち込んでから使用して下さい。なお、免許番号で待ち受けしている時は、他の待ち受けは無効となります。
 この表示は、モニターやレディ状態から、リセット状態になった時に表示されます。
 また、モニター中や通話中にリセットすれば、解除になります。
 リセット中は、再度の操作 (HOLD + CALL + HOLD) か、MON+ENDでも解除になります。

⑦ 免許番号自動表示



ATIS信号を受けると、自動で免許番号と群番号を表示します。
 免許番号は3段回に自動表示します。

免許番号表示中 左小窓 □ 点滅 ⇒ 申請された免許番号
 左小窓 - 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

【ここからは、ノーマル機能です。】

フロントパネルの灰色どおりに、使用できます。

① 送信出力、受信の低下

- HOLD** + **CALL** + **1** ⇒ 0.2W RXL 赤色表示します。
- 再度、HOLD+CALL+1 ⇒ 送信出力を0.2W、受信感度を14dB 低減にします。
⇒ 0.2W 表示
- 再度、HOLD+CALL+1 ⇒ 送信出力は0.2Wのまま、受信感度を元に戻します。
⇒ 表示なし
- 再度、HOLD+CALL+1 ⇒ 送信出力と受信感度を元に戻します。

② 通話モード切換え

- HOLD** + **CALL** + **2** ⇒ **80CH** 表示 80CHモードに設定
- 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ 1MIN 表示 一分通話モードに設定
- 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ LOCAL表示 ローカルモードに設定
- 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ 1MIN、LOCAL表示 一分通話のローカルモード
- 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ 表示なし 158chに設定

③ 80CH、158CH切換え

- HOLD** + **CALL** + **3** ⇒ **80CH** 表示し、80CHに設定
- 再度、HOLD+CALL+3 ⇒ 表示なし 158CHに設定

④ フィーバーゲーム

- HOLD** + **CALL** + **4** ⇒ **- 9 9 9 -** 表示
- PTTを押すごとにスタート、ストップします。終了はENDキーを押してください。

⑤ PA

- HOLD** + **CALL** + **5** ⇒ **P A _** 表示
- 外部スピーカーをつながないと音が出ません。終了はENDキーを押して下さい。

★⑥ 業務的拡声器

- HOLD** + **CALL** + **6** ⇒ **VU** 点滅表示
- リセット中、上記の操作をしておく、着信時、通話受信中外部スピーカーから、音が出ます。PTTを握ると、内部スピーカーに、切り換わります。工事現場等での使用に便利です。PTT ONにて機能終了ですので、再度使用時はもう一度セットして下さい。受信中に上記の操作をすると内部スピーカーが外部に変わり受信音を外部でキャッチ出来ます。

⑦ ストップ ウォッチ

- HOLD** + **CALL** + **7** ⇒ **o o o o o**
- PTTは、スタート、ストップの操作です。REMOTEは、ラップタイム、クリアー操作です。終了は、ENDキーを押して下さい。

⑧ 目覚ましアラーム

HOLD + **CALL** + **8** ⇒ **—** と、表示します。

設定時間よりカウントダウンし、時間になると音で知らせます。

例) 1時間30分後に設定し鳴らすには、

C + **0** + **1** + **3** + **0** ⇒ **1 - 3 0**

一分づつカウントダウンし、タイムアップすると、アラームが15秒間づつ大音と中音の交互に音を変化させていきます。マイクのENDキー以外のキーを押すと、アラームが一時止まり、また、5分後に鳴り始めます。終了は、マイクのENDキーを押して下さい。

⑨ 動作音の変更 大

HOLD + **CALL** + **9** ⇒ **H**

動作音を大きくします。

⑩ 動作音の変更 小、無

(動作音 小)

(動作音 無)

HOLD + **CALL** + **0** ⇒ **L** + **0** ⇒ **0**

HOLD+CALLに続いて、0のキーを押すことにより、小・無の状態が交互に現れます。

⑪ 切断信号の送出、受付

HOLD + **CALL** + **C** ⇒ **C T - O N** 再度でOFF

従来の切断信号を送出し、待ち受け状態にします。電源を切ると自動でOFFになります。この機能は、強制リセットではありません。

⑫ 居眠り防止機能

無変調のまま眠った時にアラームで、起こしてくれる機能です。

☆リセット中、モニター中 動作させると

HOLD + **CALL** + **M** ⇒ **— — —**

時間の設定をします。1分きざみに最高99分まで設定可能です。

☆送信中 動作させると

HOLD + **CALL** + **M** ⇒ **O N - 1 0** 再度でOFF

PTT ON時に操作して下さい。PTT ON状態が10分間続くとアラームが鳴ります。PTT OFFで解除出来ますが、再びPTT ONが10分以上続くとアラームが鳴ります。リセットまたは電源OFFで、完全解除出来ます。

⑬ UFO/CBC ディスプレー ON/OFF

HOLD + **CALL** + **MON** ⇒ **U C - O N** ディスプレーON

⇒ **U C - O F** 再度でOFF

UFO及びCBCを入れた時は常に、ディスプレイを表示します。30秒以内に、電源OFF/ONした時に、ディスプレイが流れなくなる機能です。

H O L D の特殊機能

以下のHOLDの特殊機能は、メモリー0の状態では使用出来ません。メモリー1～9で使用して下さい。待ち受けのランプが点灯している所は着呼可能です。

HOLD + SHIFT ⇒ A B C U S J 機能確認表示

A：アポロ機能、B：ベル機能、C：クロスバンド機能、U：UFO機能、S：スペースシャトル機能、J：ボイジャー機能のセット及び解除を確認出来ます。HOLD+SHIFTを押した時、A、B、C、U、S、J、いずれも表示している時に使用可能です。

- ※ 自動クロスバンド、UFO（デジタル）、スペースシャトル、ボイジャー通信では、立ち上がったモードにリコール出来ます。例えば、ノーマルモードから立ち上がったなら、地下2Fにいてもノーマルのモードに、リコールします。
また自動クロス、クロストーンSQ、UFOでは、CHメモリー呼び出しで移動出来ます。ノーマルモードで開局すれば、地下3Fでリセットしてもノーマルモードに戻っています。
- ※ BEL、自動クロス、UFO、ボイジャー通信では、81CH～158CHを使用します。CHの混雑から、避ける為です。
強制的に80CH内で移動したい時は、SUBモード取説を参照下さい。

① クロスバンド通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + SHIFT + C ⇒ _ C _ _ _ 再度でOFF

② ベル機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + SHIFT + M ⇒ b _ _ _ _ 再度でOFF

③ UFO（デジタル）通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + SHIFT + MON ⇒ _ _ U _ _ 再度でOFF

④ スペースシャトル通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + SHIFT + HOLD ⇒ _ _ _ S _ 再度でOFF

⑤ ボイジャー通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + SHIFT + CALL ⇒ _ _ _ _ J 再度でOFF

⑥ APPOLLO通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + SHIFT + END ⇒ A _ _ _ _ _ 再度でOFF

特殊機能での使用方法

⑦ クロスバンド通信 (リセット中のみ)

HOLD + SHIFT + 2 + 3 ⇒ CR - 2 3

同一CHの交信だが、送信と受信がおたがいに違うバンドで通話する機能です。他人にモニターされても片方の声しか受信されません。HOLD+SHIFTに続く第一数字は送信のバンドで、第二数字は受信バンドとなります。相手側は、自動でセットされますのでリセットしておいて下さい。上記の操作は、送信が地下2F、受信が地下3Fで相手側はその逆となります。CHは自動でセットされます。この時リコールは、立ち上がったモードにリコールをたきます。もちろんトーン付群番ですので特定の局しか開きません。途中で、群番、CH、が変更可能です。

⑧ トーンスケルチ通信 (リコール可能)

HOLD + SHIFT + 5 ⇒ TS - _ 5

トーンスケルチとは、群番とトーンが一致しなければ、Sメーターが振れていても相手の音声がかえらない機能です。特定の人しか聞こえてこないの、業務用としても大変便利です。モニター中、通話中に設定出来ます。設定直後は普通の受信、PTT ON、またはトーンSQ信号受信でSQが動作します。トーンスケルチ中モニターキーを押すと、普通の受信(SQ解除)となり、さらにモニターキーを押すと、またトーンスケルチが動作します。最終にセットした群番が有効で、お互いがCHと群番を入れ替える事も出来ます。

⑨ トーンスケルチ通信 クロスバンド (リコール可能)

HOLD + SHIFT + 6 + 9 ⇒ TS - 6 9

あらかじめお互いのCHメモリーを同一にしておきます。(ここでは、M6と9のCHメモリーです) HOLD+SHIFTに続く第一数字は、送信のCH、第二数字は受信のCHを表します。相手側は、リコールされればその反対がセットされます。メモリーCHは、6~9の間で選んで下さい。途中で、群番号の変更が可能です。この機能は、自動的のトーンスケルチが働きます。

⑩ UFO (デジタル) 通信 (秘話通信)

CHがランダム(無作為)に、全局が移動する機能です。リセット中に操作して下さい。

HOLD + SHIFT + SHIFT ⇒ UFO - S

UFO通信では、相手のATIS信号を受信後、2度目のPTT OFF時に全局がランダムにCH移動します。ATIS信号を受けない時は4度目のPTT OFF時に移動します。電波が弱い時や障害があった時CHが移動しない時があります。電波が弱い時はPTTを一回づつローテーションすればCHは移動しません。移動にはぐれた時はリセットし、リコールを待って下さい。この機能中、同一機種でも群番号解読はされないし、トーン付リコールですので、よけいな人をリコールしませんので妨害されるのも最小限ですみます。途中で群番号、CH、モードを変更出来ます。

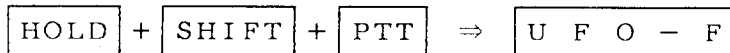
※ 濁ったATIS信号を受けた時PTTがON出来ない時があります。MONボタンを押して解除して下さい。また、全モード待ち受け(HOLD+1)は、入れないで下さい。

⑪ UFO通信 ダブルモード (秘話通信)

HOLD + SHIFT + REMOTE ⇒ UFO - D

⑩と同様に使用して下さい。上記は同一モードでしたが、この操作は、地下1Fと2Fを移動します。どのモードでリセットしても、一回のリコールで開局します。

⑫ UFO通信 フォースモード (秘話通信)

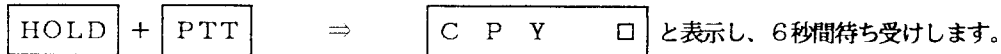


① と同様ですが、モードが地下1Fから4Fを移動します。

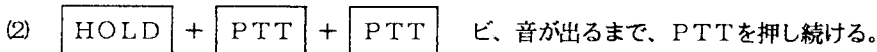
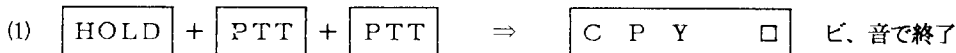
⑬ サテライト・クルージング・コピー (転送複写)

自局の全機能・全メモリーを他局に複写する機能です。

☆受信側・受信中



☆送信側・受信中



- (1) 自局の全機能を相手局(無線機)に送出する場合
- (2) 自局の全機能と全メモリーを相手局(無線機)に送出する場合
- (3) 転送受信側無線機に異常な電波が入った時にはエラー表示で中止します。

アドバイス

UFOを使いこなす人が解らない人に教えたり、仲間同士で、群番号やCHメモリー、CBロック、待ち受けをそろえたりする時便利です。ただし、二重安心ロックと暗証番号はコピーしません。また、転送受信無線機に異常な電波が混入した時にはエラー表示で中止します。

※ ワンポイント

トーンスケルチON時 ⇒ t _ _ _ _ _ メモリー窓口に、tが表示します。

クロスバンド、トーンスケルチ、UFO時にモード及びCHの変更をする時、C+?+MONとCHメモリー呼び出しで変更して下さい。ただし、クロス時はモード指定ですのでCHの変更だけです。

HOLDを離れた半特殊機能

① APPOLLO機能 (秘話通信)

通話中全局が移動する機能です。送信中に操作して下さい。

(1) APPOLLO I

送信中に マイク END を押すことで、モード1と2のランダムなCHに手動で移動します。

(2) APPOLLO II

送信中に 本体 END を押すことで、送信中に約10秒間隔でモード1と2のCHをランダムに移動します。

☆ アポロは通常、送受信中にCHが移動するので、受信側は APPOL と バンド CH の交互表示となり信号を受けたことが一目で解ります。

※ リコール信号は受信中なら立ち上がったモードへ送信中は一つ前のモードCHにリコールします。

- ② スペース、シャトル (秘話) 通信 (リコール可能)
 9個のCHメモリーを全局が同時に、メモリー1～メモリー9を各2秒間スキャンしながら交信する機能です。リセット中より、この機能が設定できる仲間全員が参加できます。

SHIFT + CALL ⇒ OK (表示は A _ _ _ _ → S-P-S となる)

(送信側) SHIFT + CALL を押しPTTを握りリコールをして下さい。

(受信側) リセット状態にしておいて下さい。

SPS通信では、相手局のATIS信号を受信して、メモリスキャンが始まり今このモード、CHを使用しているか、確認しながら交信出来ます。2秒間スキャンで群番号も解読されませんので他局に通話内容を確認される心配は少ないと思います。

あらかじめお互いがモード、CHを転送複写等で同じ順番にCHメモリーしておきます。

- ③ ボイジャー (秘話) 通信 (リコール可能) (40CH/200CH ⇒ 80CH/400CH)
 スペースシャトルと同様の内容ですが、あらかじめCHはメモリーされていますので、メモリー1の群番号をそろえておくだけです。(スペースシャトルのチャンネルセット版!)

(1) SHIFT + MON ⇒ 40CH (表示は A _ _ _ _ → B-Y-J となる)

(送信側) SHIFT+MONを押し通話して下さい。自動リコールします。

(受信側) リセット状態にしておいて下さい。

途中で、リコール出来ます。もちろん、トーン付リコールで群番号も解読されません。

(2) SHIFT + HOLD ⇒ 80CH

操作(1)と同じです。ただし、40CH毎にECHに入りその時、PTT ONなら連続して80CHをまわります。

ワンポイント

SHIFT + SHIFT + MON または CALL

と押すと、B-Y-J 及び S-P-Sが逆回りします。

また、SHIFT+SHIFT+HOLDでボイジャーを80CHにして逆回りするような複合的な使用が可能です。

- ④ カプセルQSY

現在使用CHより、QSY機能が設定出来る仲間全局を、信号を送る側のメモリーCHへ移動させる機能です。

☆ QSYを受信側 7キーを押す。 ⇒ Q - S - Y 再度でOFF

☆ QSYを送信側 9キーを押す。 ⇒ Y 1 _ _ 4 5 (全CH使用中で12345)

現在のCHメモリー使用状況を調べます。上記ではCHメモリー1、4、5は使用中を表示しています。CHメモリー2、3は空いていますので、2キーを押すとCHメモリー2でモニター状態となります。真に空きCHかを確認したら、PTT ON中(送信中)リコールをして下さい。仲間全局がCHメモリー2のCHに一斉に移動してきます。二回目からはマイクのSHIFTキーを押せば上記の表示になります。

☆ QSY終了後、もう一度QSYをするには、上記の方法で再セットして下さい。中止する時は、受手は7キー、送り手は9キーを押せばOFF出来ます。モニター、CHセットからブレイクインして来ても参加出来ます。信号を送る側と受ける側は、入れ替わってもOKです。

※ ワンポイント QSYで移動した後のリコールは、送り手は移動前のCHに、受手は立ち上がったモードの制御CHをリコールします。

⑤ プライオリティー機能

CHメモリー0～9の10個を現在使用中か空きCHかを監視する機能です。
リセット中、通話中に操作して下さい。なお、メモリー0については1秒間受信します。

リセット中、通話中にマイクのSHIFTキーを押す ⇒

A	_	2	3	_	5
---	---	---	---	---	---

再度押すと ⇒

B	_	_	_	9	_
---	---	---	---	---	---

現在、CHメモリー2、3、5が使用中、1、4、6、7、8、0が空きCHであることが分かります。

☆ プライオリティー、フライト

SHIFTを押した後、例えば2を押すとCHメモリー2でモニター状態になります。

★⑥ PTT中一時PA

送信中にマイクのSHIFTを押すと拡声器となり、PTTを放すと通常の通話状態に戻ります。

⇒

P	T	T	P	A
---	---	---	---	---

外部スピーカーを接続していない時は、使用出来ません。

⑦ 解読群番号発モニター機能

CALL

 +

HOLD

リセット中に解読群番号のCHに、即モニター出来る機能です。目的の群番号が出たらすばやく押して下さい。なお、信号がにごった(弱い)時は、2回目のCALLが受け付けません。

⑧ 数字でこんにちわ機能

送信中 7キーを押すと

73	10	10
----	----	----

 が群番解読出来る相手局の無線機に点滅表示される。

送信中 8キーを押すと

88	10	10
----	----	----

 が点滅表示される。

送信中 9キーを押すと、現在表示中の群番号が点滅表示される。

⑨ パトリオット (自動開局)

リセット中

CALL

 +

MON

 ON ⇒ OFF ON時 READYランプ 点滅

☆ リセット状態でUFO7の同一群番号が2台以上電波のつながる管内に入った状態になれば管内の同一群番全局が自動開局します。(パトリオット機能ON時に通常の発着呼出来ます。)

注意 単一モード時に、使用して下さい。オールモード (HOLD+1)、NEW MARIO II (CALL+HOLD) 機能との併用は出来ません。

⑩ 使用CH数表示

SHIFT

 約1.5秒押す → 例

2	5	_	C	H
---	---	---	---	---

 現在、80CH中 25CH使用中

リセット中、通話中(モニター時不可)に、SHIFTキーを約1.5秒以上押し続けると現在の使用中のCH数が確認出来ます。

⑪ ポケットベル機能

普通の交信と違い ATIS 信号のやりとりと考えて下さい。群番 (BEL) は、1~9 の 9 種類で、3 種類のアラーム音が受け付け側に鳴ります。信号を受けたら、BEL_? (メモリーナンバー) を表示し、20 秒間アラームが鳴り、その後タイマーがスタートし、最大 99 分 59 秒まで表示します。
 (注意) 群番号をメモリーする時に、同じ群番号にセットして下さい。また、1MIN 及び LOCAL 時は動作しません。

例) お互いにメモリー6を、12345にします。

※ 送信側

M + C + 6 ⇒ B E L _ 6 自動発呼します。

相手が受け付けなければ、7秒おきに10分間自動リコールします。それでもダメな時、リセットします。

相手が受け付けたら ⇒ C A T C H を表示し、STOPします。リセットして下さい。

※ 受信側

呼ばれたら ⇒ 3 B E L _ 6 メモリーCH1, 4, 7は、アラーム1の音
 メモリーCH2, 5, 8は、アラーム2の音
 メモリーCH3, 6, 9は、アラーム3の音

上記表示の左端の3は、アラーム3の音を表示し、どのメモリーCHかは、右端に表示される。ここでは6で、それぞれ違った3種のアラーム音が鳴り、20秒後タイマーがスタートする。

タイマーがスタートするとメモリー6が左端にくる。 ⇒ 6 2 1 2 3 0

メモリー6で、着信後 ↓ ↓ ↓ ↓ 21分 2.3秒 経過と表示

⑫ 5分間無変調防止回路

送信中に HOLD + C ON ⇔ OFF 表示 → CUT_5 1秒間

☆ 機能セットして5分後に ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ が表示され 受信に変わります。

⑬ ノーマル機レスキュー機能

CALL 約3秒間押す ⇒ -SUB- + 2

受信中に切断信号を受けると自動的にリコール信号を送出します、ノーマル機との通話中に有効です。リセットすると解除されます。SUBモード取説参照

⑭ NEW MARIO II 機能

複数の指定モードのみのモニター及びリコール (一発リコール) する機能です。

モニター中 CALL + 0 ~ 9 を連続で押せ、約2秒後 ビ、音 モード記憶

モニター中 CALL + HOLD は指定モードの セット ⇔ リセット

表示確認 リセット中は待ち受けランプ (オレンジ数字) モニター中は指定モード表示に変わります。

0 押す 指定モード・CH ⇔ 待受ランプ・群番

例) 0, 2, 4, とセットすれば、モニターSCANは 0-2-4-0 とスキャンします。
 呼び出し及びリコールは 0, 2, 4, モードに対して1回で連続リコールの必要は有りません。

☆ 操作ボード

- ◎ 1～9のボタンは、リセット中、待ち受けの ON/OFF (ノーマルと同じ)
- ◎ モニター・通話中

1CH ダウン 1 1秒以上で逆スキャン	バンド ダウン 2	1CH アップ 3 1秒以上で正スキャン
ハーフ ダウン 4	バンド アップ 5	ハーフ アップ 6
カプセル Q S Y 7	メモリーCHセット 8	カプセルパイロット 9
群番⇄CH表示 切換 マウケメモリー⇄シフト O	C	M

☆ マイクのボタン操作

リセット 中 ⇒ R ⇒	メモリー群番切換
モニター 中 ⇒ E ⇒	1CH アップ
通話 中 ⇒ M ⇒	リ コ ー ル
送信 中 ⇒ O ⇒	リ コ ー ル
HOLD 中 ⇒ T ⇒	完全 ノーマル
HOLD+SHIFT中 ⇒ E ⇒	デジタル通信復-ON

リセット 中 ⇒ E ⇒	メモリー群番切換
モニター 中 ⇒ N ⇒	リ セ ッ ト
通話 中 ⇒ N ⇒	リ セ ッ ト
送信 中 ⇒ D ⇒	アポロ I 機能

リセット 中 ⇒ S ⇒	プライオリティーON	← 1.5秒以上で使用CH数表示
モニター 中 ⇒ H ⇒	1CH ダウン	
通話 中 ⇒ I ⇒	プライオリティーON	← 1.5秒以上で使用CH数表示
送信 中 ⇒ F ⇒	PTTPA (拡声器)	
HOLD 中 ⇒ T ⇒	SHIFT 各機能	
HOLD SHIFT中 ⇒	デジタル通信単 ON	

◆ 故障と思われるとき

故障と思われる時でも次の点を確認して下さい。
それでも直らない時は、お買いあげの販売店にご相談下さい。

症状	チェック項目	原因または処置方法
・電源が入らない	1. ヒューズが切れていないか 2. 接続コードは確実に配線されているか 3. (車または基地電源)のメインスイッチがOFFになっていないか。	・原因を取り除いてからヒューズ(5A)に交換 ・無線機の接続点検、バッテリー端子の接続点検 ・車または基地電源のメインスイッチを入れる
・送信しない	1. 電圧がドロップ又はハムがでていないか 2. 電波が混雑していないか 3. アンテナは正しく着いているか 4. ノーマルに戻っていないか	・バッテリー電圧を確認してみる ・しばらく待ってからプレストークする ・アンテナコネクターがはずれている。または、はずれかかっている。アンテナ側は1cm以上出す ・HOLD+REMOTE+C+暗証番号でスペンシャに戻す
・通話中急に通話が出来なくなった	1. 通話中、間違ってENDキーをおさなかつたか	・元のチャンネルに戻る (C+??+MON)
・あまり飛ばない	1. 0.2Wになっていないか	・HOLD+CALL+1にて解除する
・交信開始の時頭が切れる	1. 空きチャンネルを探している	・最初プレストークを押した時、S-CH READYになったら通話する (約2秒かかる)
・CQ呼び出しされた時20秒で聞こえなくなる	1. タイマーカットが入っているか	・HOLD+8にてタイマーカットをONにする
・受信の始めと終わりにピー音はいる		・相手がマイクのプレストークを押したときに、ATIS信号が出る
・受信出来ない	1. RXLもしくはLOCALモードになっていないか 2. 音が小さくないか 3. 待受群番号がセットしてあるか	・HOLD+CALL+1 HOLD+CALL+2 で解除 ・ポリウムが左いっぱいになっていたら右にまわす ・待受群番号を10キーでセットする
・受信できるエリアが小さくなった	1. アンテナケーブルは、確実に接続されているか 2. 小ゾーンモードになっていないか	・アンテナコネクターのゆるみ、ケーブルのつぶれがないか ・小ゾーンモードを解除する
・S-CH READYになっても通話出来ない	1. スケルチを右へ回しノイズを出してみる	・ノイズが出ない時他局がいたずらして送信している ・弱電界の場合、スケルチが右へ回っていると音声は聞こえなくても、ATIS信号は制御される ・スケルチを左へ回して通話する
・スケルチの調整ができない	1. READYになっていないか	・プレストークまたはMONを押しMON、S-CHにして、スケルチの調整をする
・通話内容がとぎれる	1. スケルチの調整が適当か	・移動用の場合は、障害物の影響でとぎれます、スケルチの調整をする
・Enn点滅ピリピリなる	1. プレストークボタンがプレス状態のままになっていないか	・プレスを解除する
・操作出来ない	1. CBロックがセットされていないか	・HOLD+Mにて解除